

●保育理念

“ひとりひとりに生きる力を！”

1. ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。
2. ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。
3. ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます

●保育の目標

スタッフは園児が喜びをもって自発的に活動できるような言葉がけをし、自らがお手本となるような行動をとる。

スタッフは子どもたちの安全・安心で健康的な生活を確保し、主体性を尊重しながら保育する。

スタッフは家族の一員としてお互いを認め合い、子どもたちの成長のために、全員で一人ひとりの子どもたちを受けとめていく。

●保育の方針

「保育所保育指針」に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、「健康」・「人間関係」・「環境」・「言葉」・「表現」の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合せ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます。

1. スタッフの基本行動原則「丁寧・賞賛・感覚・微笑・予習＝余裕」に基づき、保育者チームは、大きな家族の構成員として見守る保育を実践します。
2. “個性豊かで元気な頭の良い子”を願う保護者のニーズに応えられる「幼児プログラム」を実践します。幼児教育プログラム実践の要諦は、子ども自身の「意欲」です。「やりたい、知りたい」という好奇心を大切にします。
3. 自分のことはできる限り自分でできる喜びを得る、そして最後までやり抜く、頑張れる「自立支援」保育を実践します。
4. 縦割り実践教育形態を通じ、小さな子、弱い子を思いやれる、仲間との関係を大切にする、など他者との中で「自律」する力をつける保育を実践します。
5. 自分は愛されている、そして、頑張ればやり通すことができるという「自尊感情」を育み、人間の土台づくりをする保育を実践します。

1. 中期事業計画のテーマ

- 経営の安定化
- 選ばれる保育園づくり

2. 園目標 ～中期事業計画のテーマを踏まえた～

保育がんばるゾウ

㊦ 笑顔で過ごす ㊧ 連絡の共有 **㊨ ファン** ファンを増やす ㊩ 得意分野を活かす

3. 原因分析

達成または未達成の原因および次年度への課題

この一年間、園目標を「保育がんばるゾウ（エ：笑顔で過ごす レ：連絡の共有 ファン：ファンを増やす ト：得意分野を活かす）」と職員みんなで決めて、園運営をおこなってきた。

一番大事な「笑顔で過ごす」は職員や子どもたちだけでなく、保護者など園に通うすべての人が対象となるように、日頃の保育はもちろんのこと、毎日の送迎や面談時など保護者とのコミュニケーションも大切におこなった。今後は園内だけでなく地域も含めて笑顔の輪を広げていきたい。

また今年度は5年ぶりに第三者評価を実施したことで、牛久保西園の良い点を改めて認識することや、現在の課題点に気が付くことができる良い機会となった。

課題点としては、組織運営管理の情報共有や地域との交流などがあげられるため、園内会議や日々の業務報告での内容をもっと幅広くすることや、地域の子育て支援施設としての役割を果たせるように、関係機関との連携や地域の保護者等に対する子育て支援の充実などをもっとはかっていきたい。

4. 開所日及び開所時間

| 事業 | 開所時間 |
|-----|----------------|
| 平日 | 7：00～20：00 |
| 土曜日 | 7：00～18：00 |
| 休園日 | 日・祝日・12/29～1/3 |

5. 定員数

・利用定員

| 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 6 | 9 | 10 | 11 | 12 | 12 | 60 |

・入所児童数

3月31日時点

| 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 6 | 12 | 13 | 13 | 13 | 14 | 71 |

6. 年間行事実施日

| 月 | 行事等の名称 | 対象者 |
|-----------------|-------------|------------|
| 5月17日 | 親子レクリエーション | 園児とその保護者 |
| 6月14日 | 個人面談 | 園児とその保護者 |
| 7月12日 | 夏祭り | 園児とその保護者 |
| 1月16・ 23・30日 | パレット学習タイム参観 | 園児とその保護者 |
| 11月15日 | 運動会 | 園児とその保護者 |
| 1月17日 | 個人面談 | 園児とその保護者 |
| 2月14日 | 発表会 | 園児とその保護者 |
| 3月20日 | 卒園式 | 卒園児とその保護者 |
| 2月28日 | 入園説明会 | 新入園児とその保護者 |
| 3月28日 | 進級説明会 | 進級園児とその保護者 |

7. SDGsに係る取り組み結果

| | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ●質の高い保育の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・園内会議等で行う研修と保育お振り返り <p>外部で受けた研修の報告が十分にできなかったので、次年度は行えるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ●気になる子支援 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士による巡回訪問 <p>自分のクラスだけでなく他のクラスの子どもの様子をも共有できていた</p> <ul style="list-style-type: none"> ●質の高い給食の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・郷土料理や物語メニューを取り入れた様々な献立 ●能力開発プログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・独自のカリキュラムを活かした計画的な取り組み |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ●出産・育児にかかる制度 <ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休制度と育児短時間勤務の期間の長さ ●介護に係る制度 ●充実した休暇制度 <ul style="list-style-type: none"> ・年間 120 日の公休と休みの取りやすい職場の環境と理解 <p>昨年度休みが重なってしまい働いているスタッフの負担が大きくなるがあったため、休み希望を記入する表を全員見られるようにした</p> |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ●働き方向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT を取り入れた保育士の負担軽減 <p>行事で作った小道具を複数のクラスで使用したり、次年度以降も使えるようにきれいに片付けたりした</p> <ul style="list-style-type: none"> ●充実した年間研修計画 <ul style="list-style-type: none"> ・必須研修と推奨研修を入れ込んだ年間計画の作成 ●キャリアパスの設定 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ研修の受講 <p>受講者は多かったが、計画的に行うことができた</p> |

| | |
|---|--|
|  <p>4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを</p> | <p>●地域交流 p j</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なイベント、育児相談の実施 <p>定期的な園庭開放と離乳食の試食相談会を設けたが、思ったほど参加者は集まらなかった。外部への発信をいかにこなうかが課題だと感じた</p> <p>●虐待防止、貧困対策への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの配備 ・行政との情報共有 <p>行政の担当の方と定期的に連絡を取って情報共有をした</p> |
|  <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を</p> | <p>●食品ロスの低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児数に合わせた使用量の計算、発注の見直し <p>●照明の LED 化推進による CO2 排出の削減</p> <p>●設備チェック・整備による使用寿命延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な点検の実施 ・不要な電力を使用しない努力 ・職員や幼児クラスの理解の促し <p>・照明の LED 化推進による CO2 排出の削減</p> <p>日常で取り入れる際は言葉にして、職員間の意識に残すよう心掛けた</p> <p>●エコ活動・リサイクルを取り入れた保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃材を利用した製作活動 |

8. 保護者との連携の報告

- ・ コドモンによる家庭との日々の連絡をおこなった
- ・ 個人面談で園児ひとりひとりの成長や園での様子を報告した
- ・ 懇談会では、クラスの様子を伝え、クラスごとの結果や育ちを報告した
- ・ 個人面談の実施月以外にも必要に応じて個別に対応した
- ・ 保育中の様子を見てもらうために希望制で保育参観を行った

9. 第三者評価に対する取組（もしくはサービス向上に向けた取組）

- ・ 5年に1回、第三者評価を受審
- ・ 姉妹園施設長による環境整備チェックを実施
スタッフ一人一人の良い点を探してもらいスタッフに伝えた
- ・ 園の自己評価を行い園の取り組みや課題点、対策について全スタッフと話し合った

10. セルフモニタリングの実施報告

- ・ 園内での怪我や園児による喧嘩などの報告を都度おこなった
- ・ 職員会議や昼礼で、共有した

- ・ 事故防止・園外保育マニュアルを見直し、研修をおこなった

11. 苦情対応・解決の取組

- ・ 園で独自の苦情解決窓口を設置し、解決への取り組みを図った
- ・ 苦情申し立ての流れを保育園の玄関に掲示した
- ・ 第三者委員の連絡先を掲示した
- ・ ・ ご意見があった際は、すぐに状況を確認し対応した

12. 職員の研修

- ・ 年間研修計画に基づき、園内研修を実施した
- ・ 個人ごとの研修計画・記録一覧に基づき、行政等主催の研修に参加した
- ・ 給食、事務スタッフは年2回の全体研修を実施した

13. 職員の労働条件・労働環境保持のための取組

- ・ 就業規則、賃金規程、36、32、24協定を制定し、労働基準監督署へ届け出た
- ・ 育児休暇、介護休暇について制定
- ・ 退職金規程を制定
- ・ 法人総務部にて、雇用管理の改善等に関する事項にかかる相談窓口を設置

14. 児童・職員の健康管理

- ・ 園児の健診については年に2回学校保健安全法に規定する健康診断に準じて実施した
- ・ 職員の健康診断は4月、5月、6月に順次受診（人間ドック希望者は個々受診）した
- ・ 中途採用者の場合は、採用前に実施・未実施の確認した
- ・ 感染症予防・衛生管理マニュアルに基づき、研修および感染症の予防に努めた
- ・ 園内で発生した場合は、速やかに掲示またはメール配信にて、保護者へ状況説明した

15. 安全安心に対する取組

(1) 事故の防止策と対応策

- ・ 全スタッフ配布のハンドブックに「安全に関する規定」等を掲載し、職員に周知した
- ・ 事故防止・園外保育マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった

(2) 不審者対策

- ・ 不審者対策を目的とした避難訓練を年に1回以上実施した
- ・ 不審者対応マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった
- ・ 施設長が他園の不審者訓練にも参加した

(3) 防火・防災対策

- ・ 毎月避難訓練および消火訓練を実施した
- ・ 災害時の地域との連携や支援、ボランティア受け入れ等を毎月の訓練時に確認した
- ・ 消防用設備の点検については専門業者へ委託し、年に2度実施した
- ・ 危機管理マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった

16. 虐待防止の取組

- ・ 児童虐待対応マニュアルにて研修を実施した
- ・ 希望職員は外部研修へ参加し、研修内容を職員に共有した

17. 給食に対する取組

- ・ 給食マニュアルにて研修を実施した
- ・ 物語メニュー、あそびごころのある盛り付けチームにて給食の質を向上に努めた
- ・ 年に2回全体研修をおこない、スキルアップを図った
- ・ 積極的に食育を行い、食への関心が高くなるようにした。

18. 地域交流に対する取組

- ・ 地域の人や施設と関わりを持ち、相互理解と連携を図る
- ・ 子どもたちが地域に対する理解を深め、生活していく場として親しみを感じる
- ・ 保育の必要にかかわらず、親と子の育ちの場としての役割を持つ
- ・ 園児募集の場としてのイベントも開催する

●今年度は苦情対応がありませんでした。